

平成 30 年度東日本大震災津波等からの復旧・復興対策に関する要望について

【要旨】

当協会から岩手県農林水産部長に対しまして、標記要望を平成 30 年 10 月 5 日（金）に行いましたので、ご報告します。

当協会からは、大井誠治会長の他、総勢 21 名の参加で県への要望活動（水産基盤整備等の復旧・復興の完遂についての他全 7 項目）を行い、上田農林水産部長から要望項目ごとにコメントをいただくとともに、理事・監事出席者から、ホタテの貝毒の研究、女性部の活動、担い手不足の問題など県全体の水産業の振興、防潮堤建設の遅れ、個別漁港の課題の話など活発な意見交換を行いました。

最後に上田農林水産部長から、皆様の懸命な取組みに御礼申し上げる。引き続き皆様と一緒に頑張るので、よろしく願う旨の話で終了しました。

1 上田農林水産部長への要望（平成 30 年 10 月 5 日 11:00~12:00）

協会側出席者：大井会長ほか総勢 21 名

県側出席者：上田農林水産部長のほか総勢 8 名

要望項目

- (1) 水産基盤整備等の復旧・整備の完遂について「一部新規」
- (2) 漁港漁場整備長期計画を踏まえた漁港等の整備について「一部新規」
- (3) 市町村管理漁港における小規模改良等の整備について「新規」
- (4) 漁港・漁村の総合的な津波からの安全対策について「継続」
- (5) 農山漁村地域整備交付金の予算の確保について「継続」
- (6) 海岸保全施設に係る維持管理費等に対する支援について「継続」
- (7) 漁港・漁場・漁村の早期復旧に向けた市町村への支援について「継続」

上田農林水産部長から、要望項目ごとに次のコメントをいただいた。

- (1) について、市町村等と緊密に連携しながら、早期の復旧完遂を目指します。
- (2) 〃、国の計画を踏まえながら、地域課題に対応した漁港等の整備を推進します。
- (3) 〃、十分な予算の確保と併せ、公共事業債の適用とするよう要望して参ります。
- (4) 〃、早期完了に向けて復旧を加速化し、地域の防災力向上に取り組んで参ります。
- (5) 〃、十分な交付金予算の確保に向けて、国に対して引き続き要望して参ります。
- (6) 〃、関係部局及び市町村と連携しながら、国に対して引き続き要望して参ります。
- (7) 〃、国に要望しつつ市町村に対して技術的・事務的に継続して支援して参ります。

2 意見交換会

当協会理事・監事からホタテ貝を除去する研究、占用料再開の延期、ウニ・アワビの資源回復のための増殖場整備、女性部活動の情報提供のあり方、担い手対策などの水産業振興について、防潮堤・水門の建設が遅れていること、個別漁港に係る諸課題など活発な意見交換会の場となった。

最後に上田部長から、水産業の復旧・復興が沿岸地域の柱であることから、しっかり取り組んでいきたいとの決意表明があった。